

JICAボランティアによる「原爆展」

世界60カ国を超えて広がる活動

JICAボランティアの原爆展は、広島出身の青年海外協力隊4名が、派遣先のニカラグアで2004年に開催したのが始まりです。世界の平和と安定に貢献するJICAボランティアの多くが原爆展の趣旨に賛同。これまでに62カ国で127回開催されました。(2015年4月現在)



現地の人と同じ目線で試行錯誤

被爆の実相を伝えるポスターやDVDなどが広島・長崎両市から提供され、広島平和文化センターを通じて現地に送られます。

JICAボランティアが行う原爆展の内容や開催方法は、国や地域の事情に合わせてさまざま。被爆の実相とその悲惨さだけでなく、平和の大切さや復興への道のりを盛り込んでいるのが特徴です。

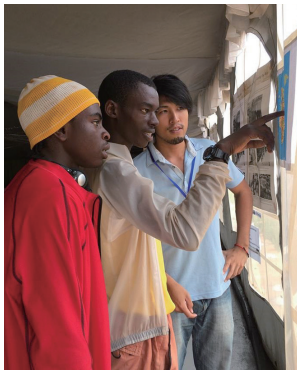
現地の人と同じ目線で活動するJICAボランティアが試行錯誤を重ねた原爆展だからこそ、現地の人々の心に響くのかもしれません。



日本の姿が復興の希望に

「自分たちも同じように復興できるんだ」。涙ぐみ、そう語る来場者もいます。内戦や紛争を経験した人々は被爆者の生きざまに自らを重ね、現在の広島・長崎、そして日本の姿に復興の希望を見出します。起こった出来事は違っても、絶望から立ち上がり、未来へ歩み出そうとする人々の気持ちは同じです。

原爆展開催を通じて、JICAボランティアは「被爆国が発信することの意味」に気がきます。「平和への思いを共有し、ともに歩みたい。」JICAボランティアの原爆展はこれからも引き継がれていくでしょう。



派遣国で原爆展を開催するには？



ウガンダでの原爆展

原爆展開催手順

- 派遣国のJICA事務所に相談
- 配属先に相談
- 広島市JICAデスクにメールで連絡
- 申請書類送付
- 原爆展資料発送
- 現地にて開催
- 広島市JICAデスクに実施報告書提出



お問い合わせは

広島市JICAデスクまで

〒730-0811 広島市中区中島町1-5(広島平和文化センター内)
TEL:082-242-8879 FAX:082-242-7452
E-mail:jica_hiroshima_desk@jica.go.jp



独立行政法人 国際協力機構
中国センター

URL:<http://www.jica.go.jp/chugoku/>

世界にヒロシマ・ナガサキを伝える

JICAボランティアによる

原爆展

